

第 43 回定時株主総会招集ご通知 正誤表

第 43 回定時株主総会招集ご通知添付書類である連結計算書類に一部誤植がございましたので、謹んでお詫び申し上げますとともに、下記のとおり訂正させていただきます。

【訂正前】

連結注記表

4. 金融商品の時価等に関する注記

金融商品の状況に関する事項

(4) 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明

金融商品の時価には、市場価格に基づく価格のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価格が含まれております。当該価格の算定においては変動要素を織り込んでいるため、異なる前提条件等によった場合、当該価格が変動することがあります。

金融商品の時価等に関する事項

平成 22 年 9 月 30 日（当期の連結決算日）における連結貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。なお、時価を把握することが極めて困難と認められるものは含まれておりません。

	連結貸借対照表計上額	時 価	差 額
現金及び預金	3,371 百万円	3,371 百万円	- 百万円
受取手形及び完成業務未収入金	772		
貸倒引当金	3		
	768	768	-
有価証券及び投資有価証券	705	705	-
資産計	4,849	4,849	-

(1) 受取手形及び完成業務未収入金に個別に計上している貸倒引当金を控除しております。

(2) 貸倒懸念債権に個別に計上している貸倒引当金を控除しております。

(注 1) 金融商品の時価の算定方法及び投資有価証券に関する事項

資 産

(1) 現金及び預金

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(2) 受取手形及び完成業務未収入金

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(3) 有価証券及び投資有価証券

これらの時価については、取引所の価格によっております。

(注 2) 時価を把握することが極めて困難と認められる金融商品

区分	連結貸借対照表計上額
非上場株式	400 百万円

これらについては、市場価格がなく、かつ将来キャッシュ・フローを見積もることなどができず、時価を把握することが極めて困難と認められるため、「(3) 有価証券及び投資有価証券」には含めておりません

【訂正後】

連結注記表

4. 金融商品の時価等に関する注記

金融商品の状況に関する事項

(4) 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明

金融商品の時価には、市場価格に基づく価格のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価格が含まれております。当該価格の算定においては変動要素を織り込んでいるため、異なる前提条件等によった場合、当該価格が変動することがあります。

金融商品の時価等に関する事項

平成 22 年 9 月 30 日（当期の連結決算日）における連結貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。なお、時価を把握することが極めて困難と認められるものは含まれておりません。

	連結貸借対照表計上額	時 価	差 額
現金及び預金	3,371 百万円	3,371 百万円	- 百万円
受取手形及び完成業務未収入金	772		
貸倒引当金	3		
	768	768	-
有価証券及び投資有価証券	304	304	-
資産計	4,444	4,444	-

(1) 受取手形及び完成業務未収入金に個別に計上している貸倒引当金を控除しております。

(2) 貸倒懸念債権に個別に計上している貸倒引当金を控除しております。

(注 1) 金融商品の時価の算定方法並びに投資有価証券に関する事項

資 産

(1) 現金及び預金

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(2) 受取手形及び完成業務未収入金

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(3) 有価証券及び投資有価証券

これらの時価については、取引所の価格によっております。

(注 2) 時価を把握することが極めて困難と認められる金融商品

区分	連結貸借対照表計上額
非上場株式等	401 百万円

これらについては、市場価格がなく、かつ将来キャッシュ・フローを見積もることなどができず、時価を把握することが極めて困難と認められるため、「(3) 有価証券及び投資有価証券」には含めておりません

以 上